

1870(明治3)年3月15日、明治の美  
 業家として活躍する旧佐倉藩士、西村勝  
 三が、東京・築地入舟町に我が国初めての  
 の靴工場、伊勢勝造靴場(いせかつぞう  
 かじょう)を開設した。その後、各地に造  
 靴所が次々につくられ、西洋化と近代化、  
 そして殖産興国と富国強兵という時代  
 の要請に応え、今日につながる日本の靴  
 産業の基礎が築かれていく。

その靴業誕生の日を、1932(昭和7)  
 年に東京靴同業組合が、先人への感謝と



# 3月15日は、「靴の記念日」。 日本の靴業の誕生日です。

業界の発展を願って「靴の記念日」とし  
 た。その後、太平洋戦争と敗戦の混乱、高  
 度成長時代、ファッション化、国際化な  
 どの社会変化を乗り越えて、業界は今日  
 を迎えている。

やがて来る2020年は靴業150年  
 の節目。時代、社会、市場、すべてが大きく  
 変動する中で、日本の靴と産業はどん  
 な未来を拓くのか。——「靴の記念日」に  
 あたり、J-SHOESの来し方、行く末  
 に想いを巡らしてみたい。



Anniversary of J-Shoes Industry

「靴の記念日」を記念して3月15日にイベントを開催します。



シューフィル

後援：(一社)日本皮革産業連合会

# 靴の黄金時代と 私の青春時代

靴の世界のレジェンドたちが語る「産業秘話」、「面白エピソード」、「靴いい話」、  
そして「靴は我が人生。靴に幸あれ」と靴に携わる喜びをシェアする新旧交歓の「ひと・とき」。

## メモリアル・トークライブ

日時 2017年 3月15日(水) 午後2時～6時 (開場:午後1時30分)

会場 JR浅草橋駅前  
ヒューリックホール  
3階会議室  
台東区浅草橋1-22-16  
ヒューリック浅草橋ビル  
TEL:03-5822-5971



定員 60名 (先着順・参加費無料)

## ライブスケジュール 各テーマについて30～60分、参加レジェンドがお話します。(順不同)

- テーマ ① 「靴の浅草」のはじまりと栄枯盛衰——ニッポン靴物語・浅草編
- テーマ ② 日本初の靴デザイナーが生まれた日——軍需産業から平和産業へ
- テーマ ③ 「つくれば売れる」花形産業の光と影——靴メーカーの青春時代
- テーマ ④ 「リーガル」ブランド誕生秘話あれこれ——ブランド時代の幕開け

スポット・エピソード → 映画「赤い靴」の思い出、銀座に靴メーカーショップが乱立、靴を輸出していた頃、「靴まつり」イベント、スタンダード靴学校、7大靴メーカー時代、ブーツブーム etc.

商品や資料の展示、  
Q&A、レジェンド  
&参加者同士の交流  
会なども予定してい  
ます。

## トーク予定レジェンド 3人合計260歳!の「珠玉の言葉」に耳を傾けたい。



**稲川 實** 皮革産業資料館副館長

1947年から製靴業に。60年に独立、婦人靴メーカーを設立。その経営の一方で産業史の研究を深め、日本初の靴工場開設の場所を特定するなどの成果を挙げた。近年は、台東区の小学校などで靴産業・皮革産業の歴史を伝える地域学習に力を入れている。著書に「靴づくりの文化史」「西洋靴事始め」。



**熊谷 温生** リーガルコーポレーションOB

1955年より日本製靴(リーガル)の靴設計・研究開発部門一筋。欧米の靴学校、企業留学や研究機関との交流を深め、1987年からは日本製靴研究所所長。同社の資料室開設などを推進。名著「プロフェッショナルシューフィッティング」訳者であり、これは江戸時代の医学書「解体新書(ターヘル・アナトミア)」の訳者・杉田玄白などの偉業に匹敵しよう。



**福原 一郎** 大塚製靴OB

1944年、勤労動員で大塚商店(大塚製靴)に。戦後はデザイナーとして同社のみならず、紳士靴業界全体をリード。1950～80年代には日本メンズファッション協会の委員としてコーディネートや商品知識の普及に尽力。雑誌、テレビなどでも活躍した。後年は「靴のオーツカ資料館」開設など文化担当として活躍。著書に「女性にやさしい靴選び」。

このほかにも、靴メーカー創業者やベテラン職人なども来場、それぞれの靴人生と産業歴史エピソードを語ってくれます。

■お申込み・お問い合わせ

シューフィル C&C ネットワーク 担当:城一生  
東京都台東区浅草7-3-6 タテマツビル2F

メール: ① tachi@shoephile.co.jp ② shoephile@mx9.ttcn.ne.jp  
FAX: 03-5603-0722